

平安	864 ① 富士山貞観噴火	青木ヶ原溶岩が噴出、大きな湖を精進湖と西湖に分断、人家も埋没	
	869 ② 貞観の三陸沖地震	三陸沖の巨大地震で大津波。仙台平野の内陸数kmまで達する	
	887 ③ 仁和南海地震	南海トラフの巨大地震。京都で死者多数。沿岸に津波、死者多数	
鎌倉	1293 ④ 鎌倉で地震	死者数千人との記録あり。2万3千人余という記載も	
室町	1498 ⑤ 明応地震	南海トラフの巨大地震。各地で大津波。死者は伊勢大湊で5千人など	
安土桃山	1586 ⑥ 天正地震	近畿、東海、北陸で被害、死者多数	
	1596 ⑦ 慶長伏見地震	伏見城で死者多数。京都、大阪で被害大。「地震加藤」の逸話で有名	
	1605 ⑧ 慶長地震	南海トラフの巨大地震。房総から九州で津波被害。揺れの記録は少ない	
	1611 ⑨ 慶長会津地震	山崩れや地すべりで集落が埋まり、川がせき止められた。死者3千数百人	
	1640 ⑩ 北海道駒ヶ岳の大噴火	山頂部が一部崩落。岩なだれが海に流れ込み津波、死者700人余	
	1657 ⑪ 明暦大火	強風で延焼、江戸の大半を焼失。直後に大雪。死者約10万人。「振袖火事」	
	1662 ⑫ 寛文近江・若狭の地震	北陸や近畿、東海で被害、死者800人以上	
	1703 ⑬ 元禄地震	相模トラフ沿いの巨大地震。関東で被害、津波も。死者1万人以上	
	1707 ⑭ 宝永地震	南海トラフの巨大地震、日本最大級。死者2万人以上。49日後に富士山噴火	
	1707 ⑮ 富士山宝永噴火	南東山腹で大噴火、江戸など関東に広く降灰。耕地埋没、洪水も相次ぐ	
	1741 ⑯ 渡島大島噴火	山が崩れ津波が発生、死者2千人以上。津波は佐渡、能登、島根にも	
	1771 ⑰ 明和八重山地震津波	八重山、宮古諸島に大津波、死者1万2千人。石垣島は人口の半数が犠牲	
	1772 ⑱ 明和大火	江戸で大火、強風で延焼。死者・行方不明者1万8700人余	
	江戸	1783 ⑲ 天明浅間山噴火	火砕流、溶岩流が噴出。土石なだれや泥流で死者1500人
		1792 ⑳ 寛政雲仙岳噴火	山が崩れ、有明海に津波。対岸の熊本にも被害。死者1万5千人。「島原大変肥後迷惑」
		1822 ㉑ 文政有珠山噴火	火砕流が発生、集落が全滅。死傷者多数
		1828 ㉒ シーボルト台風	過去300年で最大被害の台風。死者約1万人。長崎で大破のオランダ船から禁輸品
		1828 ㉓ 三条地震	新潟の三条、長岡付近で地震。死者約1600人、全壊家屋約1万3千棟
1847 ㉔ 善光寺地震		各地からの参拝客が多数犠牲に。死者8千人以上。河川のせき止め多数	
1854 ㉕ 安政東海・南海地震		東海と南海地震が32時間差で発生。死者は2千~3千人	
1855 ㉖ 安政江戸地震		東京湾北部のM7前後の地震と推定。死者は1万人ぐらい	
1858 ㉗ 飛越地震		飛騨と越中で被害大。山崩れで川がせき止められた後、決壊して洪水も発生	
明治		1872 ㉘ 浜田地震	島根県を中心に死者約550人。堤防の損壊、田畑の被害も多かった
		1888 ㉙ 磐梯山噴火	山が崩壊して、村落が埋没、477人が犠牲に。桧原湖、秋元湖などができた
		1891 ㉚ 濃尾地震	日本最大の内陸地震(M8.0)、死者7273人、全壊家屋14万棟
	1894 ㉛ 庄内地震	山形県内で死者726人。液状化、山崩れも発生	
	1896 ㉜ 明治三陸大津波	2万人以上の死者。揺れが小さい割に津波が大きく、大船渡・綾里では38.2m	

大正	1914 ㉝ 桜島噴火	溶岩流が海を埋め大隅半島と地続きに。降灰は関東、東北にも及んだ
	1923 ㉞ 関東大震災	日本最悪の地震。火災で被害拡大し10万5千人余が犠牲。津波や土砂災害も
昭和	1926 ㉟ 十勝岳噴火	噴火で積雪が溶けて泥流が発生、高速で流れ下り、犠牲者144人
	1927 ㊱ 北丹後地震	京都府北部の直下型地震。京都、兵庫、大阪で死者2925人
	1933 ㊲ 昭和三陸地震	大津波で被害、死者・行方不明者3064人、家屋の流失は約4千棟
	1934 ㊳ 函館大火	強風で延焼、市街地の3分の1が焼失。死者2千人以上、焼失1万棟以上
	1934 ㊴ 室戸台風	大阪府を中心に死者・行方不明者約3千人
	1943 ㊵ 鳥取地震	戦時中に発生、鳥取市などで死者千人以上
	1944 ㊶ 東南海地震	死者・行方不明者1200人以上。戦時中で地震被害の報道に制限
	1945 ㊷ 三河地震	東南海地震の37日後に発生、家屋が損傷しており被害拡大。死者2306人
	1945 ㊸ 枕崎台風	敗戦の混乱期に襲来。死者・行方不明3756人、広島で被害大
	1946 ㊹ 南海地震	25府県で被害、死者・行方不明者1443人。高知、和歌山、徳島で被害の8割
平成	1948 ㊺ 福井地震	M7.1の規模の割に被害大きく死者3769人、気象庁が「震度7」新設の契機に
	1954 ㊻ 洞爺丸台風	青函連絡船「洞爺丸」が沈没し1155人が犠牲、全国で死者1761人
	1959 ㊼ 伊勢湾台風	高潮で愛知、三重のゼロメートル地帯で被害大、死者・行方不明者5098人
	1960 ㊽ チリ地震津波	チリ沖地震の津波が襲来、岩手、宮城を中心に全国で死者・行方不明者142人
	1964 ㊾ 新潟地震	死者26人。地盤液状化、石油タンク火災発生。地震保険創設の契機に
	1982 ㊿ 長崎豪雨	長崎県で土砂災害多発、死者・行方不明者299人、全国では345人
	1983 ㊽㉑ 日本海中部地震	死者104人のうち津波が100人。遠足の小学生や護岸工事の人々が犠牲に
	1986 ㊽㉒ 伊豆大島噴火	山頂以外からも噴火が始まり、全島民が島外に避難
	1990 ㊽㉓ 雲仙・普賢岳噴火	溶岩ドームが崩れ、火砕流が繰り返された。犠牲者44人。土石流で集落壊滅
	1993 ㊽㉔ 北海道南西沖地震	地震発生後、5分で奥尻島に津波が来襲。死者・行方不明者230人
1995 ㊽㉕ 阪神大震災	死者6434人、行方不明3人、家屋全壊10万棟。「震度7」を初適用	
2000 ㊽㉖ 三宅島噴火	噴火により有毒ガスが大量放出、全島民が島外に避難	
2004 ㊽㉗ 新潟県中越地震	死者68人。新幹線脱線、山崩れによる土砂ダム、避難所での関連死が問題化	
2011 ㊽㉘ 東日本大震災	日本の観測史上最大の地震	

「最新版 日本被害地震総覧」(東京大学出版会)、「日本歴史災害事典」(吉川弘文館)、「理科年表」(丸善出版)、内閣府、気象庁ホームページなどをもとに作成

2011 紀伊山地深層崩壊
1961 第2室戸台風 高潮 3.9m
1950 ジェーン台風 大阪高潮 4.5m

毎日新聞  
平安以降の  
災害